



溶剤可溶型導電性高分子 ポリアニリン

- ◆ ポリアニリン系導電性高分子材料
- ◆ 電磁波シールド、メッキ下地材、導電性インクなどに利用可能
- ◆ 溶剤可溶性、高導電性、耐熱性、触媒担持性などの特徴を有する

製品概要

PRODUCT OVERVIEW

本製品は、出光興産が開発した溶剤に溶解可能なポリアニリンです。溶液を塗布するなどして均質な導電膜を形成し、各種用途に適用可能です。出光興産(株)と協力して本製品の用途展開を行っており、当社ではコンデンサ以外の用途展開に取り組んでおります。



溶剤に溶解させた
ポリアニリン溶液



成膜したポリアニリン溶液

特性

導電性	0.01 ~ 300 S/cm
熱伝導性 (電導度 100 S/cm の場合)	膜面内方向 1.0 W/(m・K) 膜厚方向 0.2 W/(m・K)

製品の特徴

PRODUCT FEATURE

有機溶剤可溶性

導電性 制御
0.01 ~ 300 S/cm

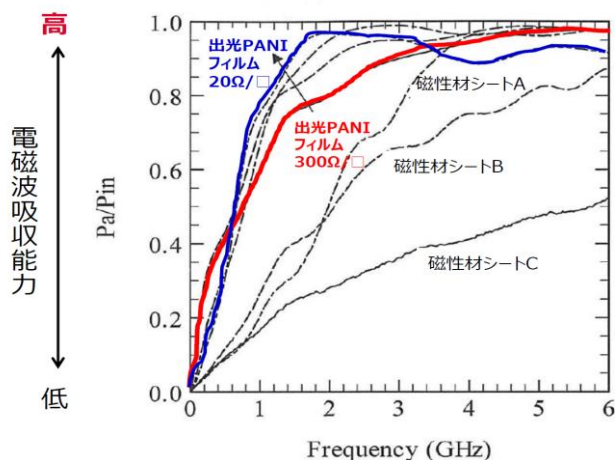
塗膜・加工性

お問い合わせ先



電磁波吸収

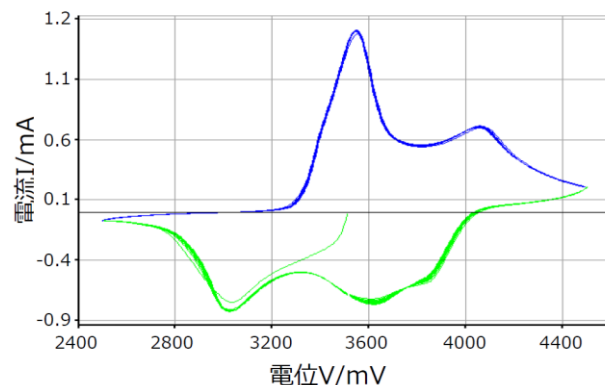
For EMI shielding



ポリアニリンフィルム 基材：易接着PET 膜厚：1 μm

酸化還元特性

Redox properties

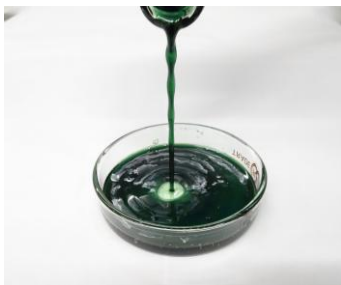


作用電極：ポリアニリン膜, 参照電極・対局：金属Li
電解液：1 M LiPF₆/EC-DEC, 走査電位：2.5 ~ 4.5 V vs Li/Li⁺
掃引速度：50 mV/sec, サイクル数：50サイクル
測定協力：国立大学法人 横浜国立大学

ラインナップ

PRODUCT
LINEUP

サンプルとして有機溶剤型ポリアニリンの粉末タイプ(ポリアニリン粉)と、添加剤を用いた配合により導電性、耐久性を向上させた液タイプ(ポリアニリンコート液)を展開しております。コート液には耐久性を向上させるB液との混合を推奨しております。

	ポリアニリン粉	ポリアニリンコート液 ※
外観		
サンプル 形態	粉末サンプル (濃緑色)	2液混合タイプ ・ A液(ポリアニリン溶液)：緑色 ・ B液(添加液)：透明 溶媒：tert-アミルアルコール溶液 ※ (危険物 第四類第二石油類)
導電性 (代表値)	0.1 S/cm (スピンコート膜)	100 S/cm (スピンコート膜)

※ご希望の溶剤種でのコート液開発についてご要望がございましたら、ご相談ください。

お問い合わせ先